

# みんな集合

やってみて  
アップ(入会)して  
**強力パワー**

めざせ 会員 3000名!!

入会のしおり



札幌腎臓病患者友の会

## 今後において透析を受けられる方

透析導入で今までと生活状態が変化し、少しとまどい悩んだり、困ったりしていませんか。

全国には透析患者が約28万名、北海道には約14,000名の患者があります。その中の札幌市(一部近郊市町村を含む)では、約5,100名の方が透析治療を行っています。

札幌には札幌腎臓病患者友の会(略称 札幌腎友会)があり、会員が1,100名で活動をしており機関紙なども発行しています。

又、私達の体調は自己管理で大きく変わります、透析20年～30年を越え経験豊富な方が多くいますので、気軽にお話ください。

是非、腎友会にご入会をして情報を得、明るく、元気にされる事をお勧め致します。

## 腎友会に未加入の患者さん

現在の状態に満足していますか。長期透析にともなう合併症の事や医療費の自己負担など、腎友会では知りたい情報を迅速にお届けできます。

◎制度の所得制限導入や見直し、外来透析食の自己負担、透析医療費引き下げ等が、医療の質の低下などにつながり、知らぬ間に私達の命が削られる事が考えられます。

腎友会への入会率が陳情や請願時に大きな役割を果たします。私達(腎友会)は、未加入者の入会をいつでも歓迎いたします。

## 一人はみんなのために、みんなは一人のために

腎友会(札幌腎臓病患者友の会)は患者・家族や会活動に賛同する人等が集まり構成されており、運営はみなさんからいただいている会費で成り立っています。しかし入会患者は全体の半数にも達せず、未加入者の方が多いのが現状です。

みんなの声やご家族の声を行政へ届けるために、会員が一人でも多い方が腎友会の活動が力強くなります。是非ご参加下さい。

# 札幌腎友会の主な活動

○総会、幹事会、役員会をひらいて活動計画を審議し、それぞれの意見を尊重して運営しています。



定期総会での風景

○会員の親睦交流会

ボウリング大会等の行事を行い交流を深めていただきます。



ボウリング大会



○会報等の発行・配布

年4回「生きる仲間」の発行をします。

年5回「どうじん」、年6回「ぜんじんきょう」を配布します。

## ○腎提供者拡大街頭キャンペーン

札幌腎友会は大通りで、臓器提供意思表示カードを配布します。



献血登録と健康相談



街頭での腎キャンペーン



患者からのアピール

## ○医療・保険・年金・福祉等の行政に対する運動。

国会請願署名募金活動

道庁や市町村に対する要望や陳情。

国会請願での結集



札幌市への要望書提出



国会議員と記念写真

## ○各種学習医療講演会

幹事会での勉強会、及び栄養士・医師などによる講演会に参加出来ます。



グループによる意見討論



講演会

## 透析を受けるようになったら、次の手続きをしましょう。

人工透析を受ければ、高額な医療費がかかるようになります。しかし、医師や医療相談員の指示により、本人または家族が以下の手続き（1～4まで）をする事により、医療費が減免されます。

### 1. 特定疾病療養受療証（長）（マル長）を取得する。

健康保険証では1ヶ月の自己負担（3割）が9万～12万円程になります。しかし特定疾病療養受療証を取得すると1ヶ月の自己負担は1万円（月収53万円以上の方 2万円）となります。

### 2. 身体障害者手帳の申請をする。

人工透析患者は内部障害者となり、身障者手帳を取得する。

### 3. 自立支援医療（更生医療）の申請をする。

透析医療に関する内容に限定し、自己負担分について公費負担する制度です。負担が高額の場合、マル障と一緒に併用できます。更生医療の申請は、事前に役所で相談して手続きして下さい。

### 4. 重度心身障害者医療費受給者証（障）（マル障）を申請する。

道市町村民税課税世帯に医療費の一割負担（通院 12,000円／月上限額・入院で44,400円／月上限額）、非課税世帯は初診料と入院時の給食費は一部負担がかかります。

札幌市は1ヶ月の自己負担（通院）院内処方の場合、透析施設に6,000円の自己負担。院外処方の場合、透析施設に3,000円と薬局に3,000円を限度に1割の自己負担。他の保険医療機関・薬局ごと3,000円限度に1割負担。（入院）1ヶ月44,400円の上限額を超えた額は償還払いされます。

市町村により対応が違いますので各役所へお問い合わせ下さい。

### 5. 障害年金が受けられます。

障害の原因となった疾病・障害の初診日において、加入している公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）を申請する。

# 福祉制度

## ☆身体障害者手帳所持者

### 控除又は非課税

所得税・相続税・住民税（1～6級まで控除）。

### 自動車税・軽自動車税・自動車取得税の免除

腎機能障害者は1級と3級が対象。

### 駐車禁止区域に駐車できる許可書

手帳を持っている人、又は家族が障害者を乗せて運転する場合。

### タクシー料金の助成

身障者手帳を提示すると1割引き。札幌市では、1～2級に福祉タクシーチケット年間39,000円分（500円券×78枚）、自動車燃料助成券年間30,000円分（1,000円券×30枚）、又は市営交通等の無料バス（1年間分）のどれかを選択、3級では、福祉ウィズユーカード48,000円、タクシー券13,000円、ガソリン券10,000円のどれかを選択する。（他市町村では対応が違います）

### JRの運賃割引

身障者（第一種・第二種）が単身で100kmを超えて乗車時（5割引）

身障者（第一種）が介護者（1名）と乗車する場合距離に関係なく、普通乗車券・回数券・急行券・定期券のいずれも介護者とも（5割引）。

### 航空運賃の割引

身障者（第一種）と介護者（1名）が、片道料金の30～37%割引。

### 有料道路通行料金の減額

身障者が自ら運転の場合と、第一種身障者を乗せて、介護者が運転する場合（50%割引）。（事前に区役所に申請する）

## ☆介護保険制度

### 介護保険（65歳以上か・40歳以上で介護保険適用疾病の方）

公的介護を受けたい時、介護保険を利用できるかどうかを判定する「要介護認定」申請を、本人か家族が市町村の介護保険窓口・住宅介護支援センターに行います。

### 介護タクシー

介護保険適用で通院（ケアプラン作成時）にタクシーの利用を組み込んでもらう。

尚、詳細は事務局及び各市町村等（担当課）へお問い合わせ下さい。

## 札幌腎臓病患者友の会(札幌腎友会)の会員になると

あなたの通院・入院する施設で、お互いを知り、話し合い等の中で腎友会を利用して下さい。腎友会の交流会や講演会、又機関紙等で色々な経験・情報を手にして、同じ接点を持てば、より生活を楽しく生きいきしたものに出来ると思います。

自分の考え・意見を、会議等で発表しましょう。

また、未加入患者を誘ってボウリング大会等に参加して、他の施設の患者さんと交流を楽しみましょう。

## 札幌腎友会に入会、自動的に道腎協と全腎協に入会となります

北海道腎臓病患者連絡協議会（道腎協）は、札幌を含む道内の各地域腎友会が集まった団体です。

社団法人 全国腎臓病協議会（全腎協）は、道腎協を含む各都道府県腎協が集まった団体です。

皆さん患者のために、意見をまとめ道庁・国（厚労省）等に対し直接色々な要望や陳情・交渉などを行います。

## 腎友会の入会申し込み方法

各施設患者会の役員に入会申込書にご記入のうえ、会費と一緒にお渡し下さい。

尚、施設に役員のいない場合は、事務局へお問い合わせ下さい。

札幌腎友会会費 6000円（年間）

内訳 全腎協 1,800円

道腎協 2,400円

札幌腎友会 1,800円

### 入会申込先

札幌腎臓病患者友の会

〒001-0017

札幌市北区北17条西2丁目2-38

サザンアベニュー北大301

電話・FAX 011-707-6789

## これまでに国会請願等で実現した主な成果

- 1972年 人工腎臓療法が身体障害者福祉法、児童福祉法の対象となり、更生医療、育成医療で透析医療費の自己負担は所得による一部負担以外は解消される。
- 1972年 人工腎臓の医療費に公費助成が始まる。
- 1974年 小中高生の検尿が義務化に。
- 1978年 腎移植が健康保険の適用に。
- 1979年 腎移植が更生医療・育成医療に。
- 1980年 道腎臓機能障害者通院交通費の補助事業開始。
- 1984年 人工透析は特定疾病療養費の適用になり、自己負担限度額が1万円になり、健保本人も地方自治体の心身障害者医療助成事業の対象になり、1万円の自己負担なし。
- 1984年 北海道腎臓バンク開設。
- 1986年 腎移植推進月間を国が設定。
- 1989年 エリスロポエチンが製造承認。貧血が劇的に解消する。
- 1990年 J R・航空運賃の身障者割引制度が内部障害者へも拡大。
- 1994年 有料道路料金の身障者割引制度が内部障害者へも拡大。
- 1994年 H D F (血液透析ろ過) が健保の適用に。
- 1995年 (社)日本腎臓移植ネットワーク発足。
- 1997年 札幌腎友会の請願署名運動により、札幌市の福祉タクシー利用券年間48枚から60枚になる。
- 1997年 脳死臓器移植法施行。(臓器提供意思表示カードの配布開始。)
- 1997年 (社)日本臓器移植ネットワーク北海道ブロックセンター発足。
- 1999年 初の脳死移植実施。
- 1999年 第1回臓器移植推進全国大会を札幌市で開催。
- 2003年 札幌市で交通費助成制度に自動車燃料助成券が導入される。